服

部

泰明

君 君 作 作 Ш 歌

すとからまだ。あえい 朝露に濡れ新な寮友朝露に濡れ新な寮友もなる。ともあるなどとものければなどものというでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、 時っ独る 満み ゕ へやらぬ芝生の 経済 れ 新 な寮友と てる りぬ芝生の上に合も訪ずれぬ **我**が : 青春 12

我ゎ鳴ぁ
が 呼ぁ 我一人にあらずして 青春は寮友とあり

かわす楽しさよ

を求め に 満み 水めて蝦夷へ来ぬ何てる旅人一人

我が青春は寮友とあり 我が青春は寮友とあり 我が青春は寮友とあり へ来る

> ゆり 早ゃ孤こ ひく 独さ 、 も 秋 き に 満み の気配が 7 る 我<sup>ゎ</sup> が あ ń 負り っ の 並<sup>な</sup>み 治: 寮ゥ 木き

独に 埋ずにかける 満み 飲み野心語れば た 突差しぬ 生むる原質を 7 る我が同 つき さ 始し ŋ ゟ 森り 胞が に

我が青春は寮友とありいとど深まる友情かないとど深まる友情かな

ば